

火災の原因！電池の捨て方

全国のごみ処理施設でリチウムイオン電池が原因とみられる火災・爆発事故が多くなっています。

東総地区クリーンセンターでもリチウムイオン電池が原因とみられる火災が発生しています。

★電池類は必ず「有害ごみ」で出しましょう

電池類は圧迫したり、破損すると発火しやすく大変危険です。

普通ごみに混入すると、収集時や焼却時に発火するおそれがあるので、必ず有害ごみの日に捨ててください。※一部家電販売店でも回収しています。

使用時に、電源コードが不要な家電製品や、充電が必要な家電製品には電池や充電式電池が入っています。

充電式電池が使用されている主なものとして、スマートフォン、タブレット、電気シェーバー、電動歯ブラシ、コードレス掃除機などがあります。電池を外した製品本体は小型家電回収BOXか金属ごみとして出してください。

●小型充電式電池にはリサイクルマークがついています

リサイクル可能な充電式電池には次のリサイクルマークがついています。



●小型充電式電池が取り外せない製品は本体ごと有害ごみへ

モバイルバッテリーや加熱式タバコなど、一体化している製品は無理に分解しないでください。発火につながるおそれがあり、大変危険です。

●有害ごみの捨て方

有害ごみは、金属・有害ごみの日に、金属ごみ（資源ごみ袋）とは別の透明か半透明の袋（中身の見える袋）に入れて出してください。